

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄住民の権利拡大
大（琉球行政主席の公選）（I）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-31 キーワード (Ja): 主席任命制, 主席公選 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43443

米との協議

1) 会談に付いて、「本日は協議委員の下打合せと
行われ、他の問題とこれに若干を話し合った」
と云。1.のラインで説明する事に合意

秘
無期限

安井総務長官、ライシヤワー大使
会談後の報道関係者に対する説明
ぶり(案)

昭和40.10.16

1. 琉球政府行政主席公選問題に関し、現地各方面から日本政府に対しても種々の要望があることを米側に伝え、日本政府としても主席選任の方法について、米側が慎重に検討するよう要望した。
2. この問題は、最終的には施政権者たる米国が決定することであるが、日本政府としては、今後も米側とこの問題を話合つて行く考えである。

(報道関係者より質問があつた場合)

この問題は、次回の協議委員会の議題とはなっていない。

CONFIDENTIAL

1. I explained to the Ambassador that a number of petitions had been received by the Japanese Government from various quarters in Okinawa concerning the matter of the public election of the Chief Executive of GRI. Also, I expressed the Japanese Government's desire that the U.S. side would carefully examine the method of selecting the Chief Executive.

2. Although the ultimate decision on this matter is to be made by the United States who holds the administrative authority, the Japanese Government will continue to discuss it with the United States through appropriate channels.

(If asked by the press)

This matter is not expected to be an agenda item at the next meeting of the Consultative Committee.

original 10/21
初回協議書

秘
無期限

北米局長
参事
北米課長

安井総務長官、ライナー大佐会談
記録 (協賛委員会について)

(40.10.18)
米比渡

本18日午後霞友会館において安井総務長官は
ライナー大佐と非公式に会談した。要旨次の
とおり。(同席者 山野特使局長 宇川北米局長
ガハレン参事官 フランス書記官 通訳渡辺)

本安井長官より (1) 好沖糧援助の日本側提案
は明日日正式に提示することになったが、これは先に
提示された米費と大きな差はある。たゞ、義務教

GA-5 外務省

育教取是論身については日本本土に準じて半額負担
とした。また、社会保障援助については米費の趣

旨は分り、検討の上半年度からは援助をしない
が今年度については上記義務教育費負担による

琉球政府の

不足分を余剰財源で充てようとする。この点に
ついて了解を得た。(2) 主席公選問題に

ついて、現状から日本政府に支拂の電費があり、
政府として無用な支拂はしない。むしろ

は、この問題について配慮方を協賛委員会と電装
したと考へたが、大佐の考へを交へた。とす

へた。打

沖に付、大佐の指名によりガハレン参事官

から、急務(検討)の退職年金の問題は、かねて
より日本側の強い要求に応じ提案したものとす

GA-6 外務省

4. 金額としては教育関係の10分の1にすぎず、日本側提案のうち重要度の低いものを転用可能なもの(新)を除外する。高野局長は、この問題を教育の内部の次に重要視しており、この半側提案を日本側が受諾すること、教育費半額負担についての日本側提案を米側が受諾することと関連させて考えている旨を述べた。

山野局長は、日本政府の方針は、総務長官の述べた通りであり、事務的に制度の内容、計数の出し方等が複雑困難なため、部内の統一ができていない旨を説明した。

これに対し、ライチャーク大は、将来的なところ、この一年以内の間に何かコミットできるものかと述べ、高野局長は、部内の申し出があるから、明日の間に合意が否かは不明だが、更に部内の検討している旨を述べた。

旨を述べた。

7月27日 ライチャーク大は、主席公選問題を取上げ、米側としては現地のこの問題に固有の関心は理解しているが、これを協談委員会に持ち出す意義については疑問を抱いている。日本側は、この問題について公表を行わず、政府が関心をもち、その旨を明確に伝えることと意向を表明しているが、現地では、この問題がグレイ・ブックの存在による利益を得るのは相違ない言辭を弄して反対を打ち出し、~~民主~~ 民主憲法にはかえり不利であり、更に高野局長は、将来的な問題に何等かの変更を加えることが望ましいと述べた。日本側からの圧力

形
によることを行おうという形に付いては、かえり牛を導くべきという旨を述べた。

これに7月2日 菅首相が80日ラインで述べ
た。それと日本米双方のこの問題に両利立場
の両利がなり。 最良に 米側の立場は分り
~~米側~~ 菅首相が、この問題が
最終的にどうなるかは米側の問題であ
るに
り、日本側と云々言ふ気はない。現地で
は、米が正に最大公同的の中心の対策に
なっている。日本政府が懸念をうけている。
民主党が日本政府から遊離した印象を与える
と云々。従って、この問題は重大である。米
側の配慮を要する。菅首相は公表した
と強く主張し、先ず、今日 協賛会とF打合
せの非公式に話合ひ。その際、他の問題と
共にこの問題もとり上げたい。この問題を
話合ひして公表するに依る。

原議「沖縄政界の動向」フカシ

極秘
無期限
10部の内
9号

主席公選をめぐり沖縄政情
に関するアンガー高等弁務
官説明

昭和43. 7. /
アメリカ局北米課

アンガー高等弁務官は、7月1日の協議委員会
第14回会合の後別室において、三木大臣及び田
中総務長官に対し、主席公選をめぐり最近の沖縄
政情に関し説明したところ、要旨次のとおり。

なお、本説明は部外、特に新聞には絶対極秘と
することに合意されたので、取扱いに注意ありた
い。

(当方 東郷アメリカ局長、山野特選局長、
千葉北米課長、北米課佐藤事務官(通訳)
先方 ジョンソン大使、アームストロング書記官、
ウィッゲル通訳官
以上陪席)

1. 主席公選及び立法院議員選挙の見通し

(1) 主席公選

現地政情に通じた者の意見によれば、6週
間ほど前には55%~45%位の差で、歴良
候補が優勢であつたが、現在は全く五分五分
の状態である。

(2) 立法院議員選挙

現状では32議席中自民党がほぼ確実とみ
られる議席が15、野党が確実とみられるも
の12、残り5議席がどつちつかず (grey area)
という状態である。

2. 選挙に影響を及ぼす最近の一連の事件とその 反響

(1) 与党側に不利な要因

(a) 汚職事件

タクシー汚職事件が沖縄の新聞の一面ト
ップをしめて報ぜられた後、最近那覇市議
会議員の土地売買をめぐり事件が明るみに
出て、その双方に関係した疑いで松岡主席
に近い新屋会計検査院長が檢察当局の取調

べをうけるといふ事態が発生している。これら汚職関係者がいずれも与党側関係者であるため、選挙に際して与党側に不利に働いている。

(4) 海水汚染問題

目下米民政府と琉球政府の担当官各2名が採集した海水検査のため米本土に行っていることでもあり、本件は新聞紙上でも下火になつている。

(5) B-52問題

本件も一応タクシー汚職に押されて新聞の一面から消えているが、これは再び問題化する可能性をもっている。5月及び6月に各1回、約100名程度のデモがあつたが、不祥事件に発展しないですんでいる。

(2) 与党側に有利な要因

(1) 教職員組合分裂の動き

6月に入つてから、先島の教職員会に分裂の動きがあり、60名の組合員が会を脱退するといふ動きが起き、これに八重山で

20名位が加わる形勢にある。沖縄自民党もこの動きを利用し、教職員会勢力の切崩しに努力している。

(2) 沖縄時報の強化

約6カ月前に発刊された沖縄時報に自民党が資金面でテコ入れし、現在18,000部の発刊部数を33,000部に増刊する計画である。これが実現すれば、沖縄時報は発刊部数において、他の邦字紙に^元必敵することになるが、本紙を通じて沖縄の政府与党の考えが島民に直接伝わることとなり、選挙をひかえて与党側に有利な条件を提供することとなる。

3. 西銘、屋良両候補及び安里社大党委員長との会談

自分(高等弁務官)は、西銘、屋良両候補が正式指名をうけた^た後、両者と別個に会談した。この二人のうちいずれかが11月以降の主席となることでもあり、今後ともこの両者との会談の機会を持つようにしたいと考えている。勿論

自分（高等弁務官）は、選挙に対しては中立の立場をとっており、両候補とも、自分との会談後の記者会見で、米側は中立である旨述べている。これら両候補との会談及び安里社大党委員長との会談からえた印象を中心に、両候補の動きを述べると次のとおりである。

(1) 西銘候補の動き

西銘候補はきわめて有能であり、現在の沖縄自民党の改善を行ないうる人物はほかに見当らない。同候補はきわめて自信を持っており、若干自信過剰の気味もある。ただ最近、実際問題に直面し、その態度も変わりつつあるようである。

なお、選挙戦術として、琉政の政策のよさを十分に沖縄の住民に認識せしめることを考えており、その意味からも、上記沖縄時報の強化は重要である。また上記政策の一環として、一体化政策が住民の利益に直接結びつくものであるとの説明を行なっている。今後この面での働きかけをプロらしく押し進め、ま

た汚職事件を keep down できれば、現在五分五分の情勢を西銘候補の優勢に転ぜしめることも可能であろう。

(2) 屋良候補の動き

屋良候補は、*respected gentlemen* fine and ~~renowned gentlemen~~ であり、主張の異なる野党の統一候補に指名されたこと自体、その人物のよさの一証左である。ただ同候補については、(1)行政的経験がないこと、及び何理想主義者であるため、野党連合がうまく行かなくなつた際に、過激派に振りまわられるおそれがあること等の弱点がある。

野党側に選挙戦術として、一体化政策を攻撃しようとする動きがあることにもかんがみ、先般屋良候補と会談した際、当方より意識的に、一体化と諮問委の役割りの問題を取りあげ話合つた結果、屋良候補はこの点非常に naive であつたが、幾分理解を深めたようであつた。

なお、野党は当初、一体化は遅延をおくらせるゴマカシであるとの立場をとっていたが、

最近えた情報によれば、野党内部でも一体化政策を攻撃することにつき疑問を持つ動きがでてきているよりである。

(3) 安里社大党委員長との会談

安里委員長は、当初野党候補の第1と目されていたところ、社大党と人民党との間の年来の抗争に起因して、野党の統一候補になりえなかつた経緯がある。

これに関連して、屋良の立候補に当つての2条件、すなわち、(1)支持政党のイデオロギ一にとらわれない、(2)琉政の局長の任命は政治的にやらない、は非常によいことだと思ふ。なお、安里委員長は自分に対し、野党連合内部にも、かなりの競争やら、抗争があると述べているが、屋良も自分に、野党連合が勝利した際に琉球政府の局長のポストを人民党に与える気は全くないと語り、また安里は社大党や教職員会を中心に、社会党や人民党を抑えて行くとも自分に述べている。

4 那覇市長選挙(知念氏の立候補辞退)

那覇市の票数は、沖縄全島の3分の1〜4分の1をしめ、従つて那覇市長選挙の結果は、主席公選及び立法院議員選挙に大きな影響をもつ。知念氏の立候補辞退については、自分としても、未だ希望をすてておらず、立法院の会期終了とともに、同氏の同意を求め、立候補を受諾させようと思ふ。与党側が知念氏以外野党の平良候補を破れる候補がないと考えている現状では、知念氏の同意を求める努力が当面最も必要である。

5 松岡主席辞任の動き

先般のタクシー汚職のときにも、松岡主席の辞任を思いとどまらせることに成功したが、今回もすでに財界代表が松岡主席に会談し、留任を勧告している。米民政府としても、カーペンター民政官が主席に会い、留任を勧告するなど、松岡主席留任に努力しているので、辞任はさけようと思ふが、なお、本土政府、自民党の幹部より留任の方向で働きかけていただければありがたい。

(田中総務長官より、松岡主席の周囲に、岡氏の辞任を求める動きありとの話も聞いているが、この段階での主席辞任は各方面に悪影響を生ずべく、是非さけないので、この点について米側の協力をえたいと述べ、さらに主席辞任の事態に立至つた場合にとるべき措置について高等弁務官の考えを質したのに対し)

沖縄の政府、与党内には、自民党にはられた汚職のレッチルをはがすため、松岡主席の辞任を求める動きがあるのは事実だが、すでに財界人等から、留任の勧告が行なわれており、留任を求める動きもある。

それでも辞任は法律的に可能であり(立法院の決議で辞任を撤回せしめることはできない)、他方主席公選は大統領行政命令で11月と決つており、松岡主席辞任という事態になつても、その繰上げはできない。従つて、主席公選前に松岡主席の辞任という事態が起れば、従来どおり立法院議員による主席指名という手続をふむことになるが、立法院の現状では、主席指名を

めぐつての与野党間の混乱はさげがたく、暴力沙汰にも発展するおそれも多いので、かかる場合には立法院の指名をさげ、現副主席をして主席の職を代行せしめるのが最も得策と考えている。このことは米民政府部内で、法律的及び政治的見地から十分検討した結果に基づく結論であるが、いずれにせよやむをえざる場合でも、副主席の代行の期間は短かければ短いほどよい。

6. 主席公選をめぐる中共の働きかけについて

(田中総務長官より、主席公選をめぐり中共から、教職員会に物心両面の支持があるとの情報もあり、主席公選は単に沖縄の選挙という性格を越えて、国際的対立競争の場となりつつある旨指摘して、米側の慎重な政策的配慮を要望したのに対し)自分(高等弁務官)は、まだかかる情報を聞いたことはないが、中共の動きについては常に十分注意を払つている。いずれにせよ、米側としては、本心は本土政府、与党と同じである。

アメリカ局長

参事官

秘
まで

条約課長

安全保障課長

北米課長

南米課長

本土自民党の主席公選対策(基地
公善問題)に關する在京米國大使
館との意見交換

42.8.15. 米紀

北米課長は、15日、在京米國大使館
シヤマン参事官の来訪を求め、標記の

件に關し、意見交換を行つたと云ふ。
概要旨次の通り。

(当方、佐藤、美方、アムストロング同席)

1. 当方より、(1) 本土自民党は、沖縄の置席
選挙に於ける西銘候補更換のため、
新年度の日政援助を初年度とす
一体化3ヶ年計画を中心として自民党
沖縄対策の発表を準備中であること

(北米課長)
~~又(2) 外務省は、総務府(加藤参事官)
と協力を要するに同意を説明した事~~

GA-6

外務省

5138

(2) 自民党側は、本対策の中に、基地公善
問題に關し、米琉西政府の分担を

(琉政) 担命に關しては、実質上日本政府
が援助する。但し、その確認は中であること

については、来年度の日政援助 ~~琉政原案~~
に於て、欠了項目は入つていないことによる

補償制度の設立を唱へることを希望して
いること。(3) 自分(北米課長)は、14日

の自民党沖特委で上記(2)に關する意見を
求めたところ、欠了措置の必要性

に階層別的に替へることも、施設措者たる
米側の意向も打診した上で最終的に
自民党対策に於ける本件(日政)の取り扱

決 ~~定~~ した旨指摘し、了解を得たこと
を説明し、この日に關する米側の意見を

GA-6

外務省

求めた。^足
(当方)補償的に本土における基地公害

対策の実情を説明し、(1)本土で、(2)直接
米軍の責任に帰する公害については、地位協定

第18条に従い、米側75%、日本側25%の比率
で日米双方が分担し補償し、(2)地位協定

に反するものについては、基地周辺整備法に
基づき防衛施設法等、自衛費の増額の

補償と行なっていること、(2)土と沖合に
あるものは、井戸水汚染問題は上記

(1)の場合に於て、騒音問題は(2)の場合
に於けると述べたこと。

2. 沖合に対し、先方より(1)米側としては、基地公害
対策を重視し、カベツ一行政官の直接指揮の下に、

軍資金をかなり自由に使用する
権限を認められ、この問題に對して

USCARは
12あり、(2)Cに、主席公選における
西銘候補が最も弱き地域は、嘉手納

基地周辺地域であることと認識してあり、
選挙対策上の考慮から、基地公害対策

を重視している。従って、最近、基地公害
に對する不満は、あつて来ている

述べ、~~補償~~、(2)上記(2)の補償
方式については、その(1)米側の費用

負担を伴うものがあり、(2)日本政府
としては、自民党としての政策

として、^{これは}(1)長期的な政策目標として
と、^{これは}膜然として表現してあるもの
であり、米側としては、(2)Cに問題がある

(一) 方針
~~先方針~~ この方針が本土の地位協定の
中絶に計る商用を~~具~~ ^{にあり} する形

出さしと中絶 理地及び米本国の
米側関係者には必要警戒心あり

させられし中ありと付言した。

又 当方より、一応、自民党の政策ハローに

~~「先方針」~~ "to move
towards the direction of solving

base frictions (基地公害) along the lines
of the system existing in the

mainland" といふ趣旨の表現を蓋し
たことと、これ如何と捉辱したこと。

先方針 了すこと。 (16日特電内容以下に記述
あり、本内通に今後臨時、^{外務省} 取組む
こととす。

秘私

AMPA 局長・地球米化 官公 会 記
AMPA 局長・地球米化 官公 会 記
4.9.10
米化

10日午後、上京中のカーン・ロー・民政官生AMPA
局長と方向、要旨下記のとおり(会務(米
北長同席)

- 1. 本土遺散分子の渡航防止
 米化 全学連、八平連等 本土の1700に
 近いに米化者 渡航申請1800の
 一部に4已て25 30才以下で素姓の分子が
 の渡航を包括的禁止案にありか 米化者本土

在米米化者
本信
録
7/10

(2/21 2171)

弊者の協力と待と遺散分子 米化者 米化者
米化のしかと要旨 米化者 米化者

2. 来年度 日政 援助 (AM 協定書)
米化者 10月 上旬に 協定書 米化者 米化者

AM 援助 問題 米化者 米化者 米化者
米化者 (米化者 米化者 米化者)

米化者 米化者 米化者 米化者
米化者 米化者 米化者 米化者

米化者 米化者 米化者 米化者
米化者 米化者 米化者 米化者

米化者 米化者 米化者 米化者
米化者 米化者 米化者 米化者

3. 原潜 A 4-B-52 問題
(1) 米化者 最近の 原潜 米化者 米化者

泥中のコハル160 検査に因り検査上にとり
加せると、強ち事(注)大まかにしては不明

あ、と沖能と対し同様の内装あり、右方あり
米陸兵共同調査の報告後の結果として、+110 検査

がある等と述べて。(注: 後叙 在米駐米大使館
より同様意見あり。) 〇〇

(2) 〇、地 〇-52 月後叙 嘉利内基地にあり
~~〇〇〇〇~~ 現在〇〇〇〇 一応 〇〇〇〇 〇〇〇〇

と余り内装視し〇〇〇〇、御光御の選考結果
如何であるか、再々調査を命じられ、半信に止り

意見等は、〇〇〇〇を述べて。

と) 主席選挙の見通し

〇、地 5分5分の形勢で、総選挙の日程

は、^注 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇
〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇の40% 土を取水し、〇〇〇〇と〇〇〇〇、
〇〇〇〇(〇〇〇〇) 〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇 ^(意見) ^(幹事長)
〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇
〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 (〇〇〇〇)

付属費支持の後、印象を〇〇〇〇(〇〇〇〇)

5. 〇〇政府の意向と米政府の対応
〇〇、地 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇、〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇
〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇の〇〇〇〇と述べて、〇〇〇〇
米側次員は、〇〇〇〇の〇〇〇〇

と〇〇〇〇

6. 〇〇〇〇 USCAR 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇
〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

秘
無期限

アメリカ局長
参事官
北米課長

沖縄生席選考について
43. 10. 31
米地

10月31日 在米大付、沖縄生席選考
の件、由り、HICOM 及び 社電報子
10月29日

1部 当分の事務に送付致す。
二つに付して

(1) 生席選考については 10月23日 現在 増添
等の 記録については 局長の 両部にて

7.769 年 4-1-12-13.
(2) 生席院選考については 先 14 票 添帯 詳電

14 票 添帯 他に 4 票 添帯 先 所 電 添帯

GA-5

599 外務省

2

の 秘 地 について
首 付 について

GA-6

外務省

ACTION: PP RUALOT
 POL-5 DE RUAOBQA 4130 3031102
 ZNY CCCCC
 INFO: P R 290830Z OCT 68
 AMB FM HICOMRY OKINAWA RYIS
 DCM TO RUEADWD/DA
 A/EX INFO RUALOT /AMEMB TOKYO
 PA/K RUHHHQ/CINCPAC
 A/JM RUHHRGA/CINCUSARPAC
 FM RUEHC/SECSTATE
 POL/A BT

CONFIDENTIAL

CONTROL: 1292

RECD: OCT. 29, 1968
 20:45 P.M.

CONFIDENTIAL HC-LN 850305 DA TO DCSOPS
 FOR DICA 743 STATE FOR SNEIDER.
 DAO SUBJ: POLICE ELECTION ESTIMATE
 CONS REF: A. HC-LN 830203
 ADM 1. (C) NEW POLICE ESTIMATE DATED 23 OCTOBER SHOWS YARA
 LEADING NISHIME OVERALL BY 7769 VOTES (01.6 OF TOTAL).
 LABA BREAKDOWN SHOWS NISHIME SLIGHTLY AHEAD IN NORTHERN
 CHRO 2 OKINAWA, OUTER ISLANDS; BEHIND YARA IN NAHA, CENTRAL
 AREA AND SOUTHERN OPNAWA. ESTIMATE SHOWS THAT
 NISHIME'S MARGINS IN NORTH, OUTER ISLANDS HAVE FALLEN
 AND POLICE NOW GIVE YARA 802 VOTE EDGE IN SOUTHERN
 OKINAWA. YARA'S MARGIN IN CENTRAL AREA HAS INCREASED

PAGE 2 RUAOBQA4130 C O N F I D E N T I A L
 SLIGHTLY, BUT POLICE SHOW NISHIME TRAILING YARA IN NAHA
 BY ONLY 4230 VOTES.
 2. (C) ON LEGISLATIVE SIDE, POLICE GIVE CONSERVATIVES
 14 SEATS, OPPOSITON 14, WITH 4 CONTESTS E VEN.
 3. (C) ABOVE ESTIMATE IS SECOND IN SERIES OF DETAILED
 SURVEYS WHICH POLICE PLAN TO COMPILE WEEKLY UNTIL
 ELECTION.
 4. (C) COMMENT : ALTHOUGH POLICE SHOW THAT YARA HAS
 GAINED SLIGHTLY OVER PAST WEEK, MARGINS INVOLVED VERY
 SMALL AND WITHIN PROBABILITY OF ERROR. POLICE
 LEGISLATIVE ESTIMATE SHOWS KUWAE WINNING HANDILY IN
 DISTRICT 11 AND TAKEHARA TAKING DISTRICT 18. COG
 RATES BOTH THESE CONTESTS AS EVEN. OTHERWISE, NO
 SURPRISES IN CURRENT POLICE ESTIMATE. CP-4.
 BT

CONFIDENTIAL

10/31
 在京米大使館
 入牛

秘
 無期限

アメリカ局
 参事官
 北米課長

沖縄選挙結果に關する米國
 民政府の目方
 42.11.15. 米20.
 1. 在京米國大使館ア-42-12-9書記官は
 15日、今般の選挙結果に關する米國
 民政府の評価に關し、別紙の通り、
 牛交越した。存外、本件外務省限りに
 加わらずし。因。
 2. 米民政府の目方、要旨次。通り。
 (1) 今般の選挙結果は、野党の提唱した
 米民政府の支持、基地の計画的な
 維持の支持を要した。と云ふ意味(18)。
 (2) 米民政府の勝利は、何れも
 米民政府の支持、基地の計画的な
 維持の支持を要した。と云ふ意味(18)。
 汚職、基地問題等、米民政府の支持を要した。と云ふ意味(18)。

11/16

等 ~~1~~ の ~~1~~ を ~~1~~ した。

(3) 自民党の組織的都市会向 ~~7~~ なく ~~7~~ 手 ~~7~~ 。

社大定座の ~~2~~ 西各片支援 ~~1~~ ため ~~1~~ 十分 ~~1~~ 。

結束力 ~~1~~ 示 ~~1~~ 存 ~~1~~ った ~~1~~ ため ~~1~~ 西 ~~1~~ 各 ~~1~~ 片 ~~1~~ の ~~1~~ 下 ~~1~~ の

西各片 ^{候補} の ~~1~~ 善 ~~1~~ 戦 ~~1~~ (relatively close outcome) ~~1~~ 。

西各片 ^{候補} 候補 ~~1~~ 一体化 ~~1~~ と ~~1~~ 経済 ~~1~~ 問題 ~~1~~ を ~~1~~ ため ~~1~~ 。

に ~~1~~ 利用 ~~1~~ した ~~1~~ こと ~~1~~ と ~~1~~ (12) 住 ~~1~~ 所 ~~1~~ 側 ~~1~~ の ~~1~~ 優 ~~1~~ 待 ~~1~~ 一 ~~1~~ 律 ~~1~~ 。

経済 ~~1~~ 問題 ~~1~~ に対して ~~1~~ ~~1~~ 起 ~~1~~ 因 ~~1~~ する ~~1~~ 。

(4) 那覇市長選 ~~1~~ 付 ~~1~~ 平 ~~1~~ 良 ~~1~~ 候補 ~~1~~ の ~~1~~ 勝利 ~~1~~ ~~1~~ 。

確 ~~1~~ 定 ~~1~~ あり ~~1~~ 自 ~~1~~ 民 ~~1~~ 党 ~~1~~ 側 ~~1~~ に ~~1~~ 付 ~~1~~ 立 ~~1~~ 候補 ~~1~~ ~~1~~ 。

取 ~~1~~ り ~~1~~ 切 ~~1~~ り ~~1~~ の ~~1~~ 気 ~~1~~ 運 ~~1~~ あり ~~1~~ 。

(北米 ~~1~~ 海 ~~1~~ 注 ~~1~~ ; 那 ~~1~~ 覇 ~~1~~ 市 ~~1~~ 長 ~~1~~ 選 ~~1~~ 告 ~~1~~ 示 ~~1~~ 日 ~~1~~ 16 ~~1~~ 日 ~~1~~)

秘
無 期 限

CONFIDENTIAL

アメリカ局長
参事官
北米課長了

ELECTION REPORT

Chobyō YARA defeated Junji NISHIME by 31,564 votes carrying 237,565 (53.5 percent) to Nishime's 206,001 (46.5 percent). The OLDP maintained legislative control with 18 seats although the opposition legislative candidates polled 52 percent of the legislative vote.

Yara's massive wins in Central Okinawa (a 21,348 lead) and in Naha (20,718) far outweighed the margins Nishime had in Northern Okinawa (6,300) and Sakishima (5,213). Additionally, OTA activities lost Southern Okinawa for the OLDP by 1,011 votes and kept Nishime's margins in the traditionally conservative areas to a minimum. The OLDP Legislators ran ahead of Nishime in twenty-two districts and Nishime lost in five districts (8, 11, 24, 25, and 32, which in turn elected conservative candidates).

Nishime carried thirteen districts overall: in all but two (3 and 32) of the Northern Okinawa and Sakishima districts, in only two (23 and 26) of the five Southern Okinawa districts, in one Naha district (20) and in one Central Okinawa district (9).

Not surprisingly, the OLDP continued its control of rural Northern and Southern Okinawa and had a clean sweep in the five Sakishima Districts. The Opposition, however, controls the more populous Central Okinawa and Naha Districts. Only four of the conservatives' 18 seats can be considered urban while twelve of the Opposition's 14 seats are in the city. Additionally, the OPP came within 1,800 votes of taking urban Districts 8, 24, and 25.

Traditional voting patterns and incumbency strength were key factors in the OLDP's maintaining control of the Legislature. Fourteen of the sixteen incumbent conservatives running were re-elected as were all the Opposition incumbents with the exception of Kudaka and Tomori.

CONFIDENTIAL

米民政府の沖縄選挙分析 (1/5) 在京米多入外路有限の理由

CONFIDENTIAL

2

Although the Opposition captured only fourteen seats, they received 52 percent of the popular vote. With Yara as Chief Executive and the Opposition Legislators claiming the majority of the popular vote, the present Electoral District System will probably come under attack by the OLDP legislative majority.

Despite the Opposition and press campaign efforts to tie Yara's star to dissatisfaction with twenty-three years of "alien" administration and to an emotional appeal for reversion against bases, the election results are equivocal and do not support the conclusion that the Yara victory represents a mandate for opposition policies. It is more likely that the victory results from a combination of factors, most important of which is Yara's age and his prestige. It is unlikely that any other opposition candidate could have done as well or perhaps even have won. An aging and widely respected educator, Yara appealed to the many otherwise conservative voters and developed an image of a non-political leader who would bring fresh, clean air to a political scene sullied by long OLDP control. Yara's personal strength was assisted by an opposition coalition which was unprecedented in unity and by an unflagging effort of OTA which emerged from the campaign as the best organized, most effective political action group in the Ryukyus. The OLDP entered the campaign on the defensive as a result of a taxi scandal which the Opposition used to build up as a corruption issue particularly in the last days of the campaign (and which was probably the major factor in Matsuoka's devious efforts to recoup his own prestige). As the governing party, the OLDP was also on the defensive in a wide range of base-related issues running the gamut from B-52's and nuclear submarines to land acquisitions.

Finally, the OLDP organization has not met the urban challenge and the rurally-oriented old-guard never completely united behind Nishime whose OSMP background made him unpalatable to hidebound conservatives. Against this background, the relatively close outcome is a tribute to Nishime's skillful development and exploitation of "Ittaika" and economic issues and parallel growth of the public's awareness of the economic implications of reversion.

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

3

The Coalition's Naha showing makes the Taira Mayoral victory a virtual certainty. We understand that sentiment is growing in the OLDP not to contest the Mayoralty.

CONFIDENTIAL

アメリカ局長
参事官
北米課長

秘
無期限

屋良・ア・カ-会議

4.11.15. 米北

在京米国大使館ア-ムストロング書記官¹⁵は、~~12~~日
佐藤の対し、12日の屋良・ア・カ-会議~~の~~

の内容につき要旨次の通り述べた。

(2日以内)

1. 会議は極めて短く5時間も経たず終わった。
2. 議内容の1号筋はア・カ-高等弁務官より

説明し、屋良氏も、その有益な様用として
認め、~~更に~~、~~更に~~、本年冒合のあり方について。

両者間で意見を交換することとした。

3. 人事方面で、屋良氏は lower level の要職

に父を任命する旨語った。

4. 就任式について、屋良氏は、本土共産党内保

者の招待~~と~~と考へて11月11日様子であった。(注)

GA-6

外務省

6146

(注) 芝居米 米側は、屋良取指先を後
の才の内題は、屋良主席就任式

出席に本土共産党内保者か出席
する場合の入成許可問題あり

と12. 対策を検討中の由。ア・高等
弁務官は、本件について極めて。

強硬の模様。(以上、ア-ムストロ
ング佐藤の脱取)

GA-6

外務省